

あかしあ

AKASHIA

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
 ●連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5
 電話 03(3849)1188
 FAX 03(3849)7001
 ●印刷 足立区大谷田就労支援センター
 法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

後援会総会開催

平成24年6月19日に、平成24年度社会福祉法人あいのわ福祉会後援会総会が開催されました。来賓(足立区、足立区肢体不自由児者父母の会様他)よりご祝辞をいただき、秋山後援会長が議長に選任され審議が行われました。

・議案

第1号議案

- (1)平成23年度事業報告
 (2)平成23年度決算報告
 (3)平成23年度監査報告

第2号議案 平成24年度役員(案)

第3号議案 平成24年度事業計画(案)

第4号議案 平成24年度予算(案)

平成23年度事業報告では、ライオンズクラブや企業等の加入があり、後援会員(個人・団体・特別)数が前年度より若干増加しました。また、東日本大震災支援活動を各事業所で取り組み、法人と一体的にすすめ、被災地への人員派遣、救済物資の搬送、義援金活動等が報告され、今年度についても継続的に支援を行うことが確認されました。

事業計画では、会員拡大を430口まで目指すこと。通所施設・グループホームの建設に力をそそぎ、地域生活支援の充実を図ること。また、法人の中期計画に基づき通所施設・ケアホーム・グループホーム等の勉強会、施設見学及び父母の会と共催の所得補償と成年後見制度等の研修会の開催などが承認されました。

総会終了後、この1年間(平成23年4月1日～平成24年3月31日)に多額のご寄付をいただいた19名の方々に感謝状が贈呈されました。

今年度も、後援会の活動にご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



記念講演「足立区生物園の取組み」

足立区生物園園長

榎本太郎氏

後援会総会終了後の第2部は、元淵江公園にある足立区生物園の榎本太郎園長より、生物園の成り立ちや外国との交流、施設全体の概要と特徴について、1時間程お話をいただきました。

昭和50年に、東京都から足立区に4haもの広大な公園が移管されたとのことでした。その後、平成5年10月に足立区政60周年記念事業として「ふれあい」、「いのち」、「共生」がテーマに掲げられ生物園として開園されました。

今年5月の「あだち広報」でも大きく紹介されていましたが、ビルマニシキヘビ、太古からの淡水最大級のピラルーク、源氏ボタルの特別開園、50種を超える蝶は、さなぎから孵化までの飼育や諸外国への幼虫の輸出等、アメリカのシンシナティークローク生物園と連携を取って、いろいろな研究を相互に行っているとのことでした。

今回、このような話を直接聞くことがなかったならば、意外と身近に素晴らしい生物園があることさえ知らず、行く機会さえなかったかもしれません。残念ながら、私もまだ一度も足を運んだことがありませんでしたので、榎本園長の話を聞いて、直ぐにでも行きたくなりました。土曜日は、竹の塚ひまわり園の動物パン(生物園限定)が販売されているとの情報も頂きましたので、平日は勿論のこと、皆さん是非時間を取ってお出かけになってみてください。



足立あかしあ園だより

梅雨も明け、猛烈な暑さが続いています。昨年に続いて節電を意識しつつ、体調に気を付けながら楽しい活動を行なっていきたいと思っています。

6月22日に施設みんなでの行事、「昼食バイキング」をボランティアさんにもご協力をいただいて行いました。今回のテーマは「和洋折衷!!」ということで、たくさん美味しい料理が並びました。

これまではバイキングで利用者のみなさんが食事の

並んだテーブルまで取りに行っていました

が、利用者・職員・

ボランティアさんでギッシリの

会場になってしま

まい、食事はテ

ーブルに運び、

デザートをバイ

キングのように

取りに行くスタイルに変更しました。次々に運ばれてくるハン



数々に、お腹もいっぱいになりつても、デザートのケーキは別腹の皆さん。「やっぱりもう少し・・・」と満面の笑みでおぼっていました。

7月にはBグループの旅行も企画されています。これからも楽しいこと盛りだくさんの足立あかしあ園です。

今年度の施設のお祭り(ふれあいフェスティバル)は、例年の9月から10月14日(日)に時期を変更して開催いたします。皆様のご協力をいただきながら、地域の方々と触れ合える楽しいお祭りになるよう進めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

(塩田)

綾瀬あかしあ園だより

今年度から、4グループ体制でスタートした綾瀬あかしあ園。前号では、新年度が始まり、まだまだ慌ただしい日々をお伝えしましたが、各グループとも少しずつ落ち着いてきており、利用者さんの笑顔も増えてきました。しかし、落ち着いてきたからといって、現状に満足はせず、昨日より今日、今日より明日と、よりよい支援がきるよう心掛けて



いきます。

さて、6月5

日(火)に、

『ヴィーヴ！

サクソフオー

ン・クワルテッ

ト』さんをお

招きして、ふ

れあいコンサ

ートが行われ

ました。なかなか聴く機会のないサクスの生演奏に、利用者の皆さんも支援員も大興奮。演奏してくださった曲

は『ミッキーマウスマーチ』や『明日があるさ』、『世界に一つだけの花』

とお馴染みの曲が多く、みんなで手拍子したり、歌ったりして盛り上がりま

した。やっぱりプロの方の生演奏はい

いですね。『ヴィーヴ！サクソフオー

ン・クワルテット』の皆さん、ふれ

あいコンサートの開催に協力してくだ

さった公益財団法人足立区生涯学習振

興公社の皆様、この場を借りてお礼を

申し上げます。ありがとうございました。

(草野)

竹の塚あかしあの杜きずな(生活介護入所)だより

暑い日が少しずつ増えてまいりました。みなさまの体調はいかがですか？さて、竹の塚あかしあの杜では先日、杜祭^{もちまつ}が開催され、きずなでは自



主生産品や復興支援商品の売り子をはじめ、4サークルの活動発表をメインに参加しました。

アートサークルは、全長1メートルを超えるこいのぼり2匹を展示し、活動の様子を写真付きで紹介しました。

園芸サークルではハーブを、調理サークルではチョコバナナをそれぞれお客さんにプレゼントしました。

音楽サークルはのぞみとのコラボバンドということで、ステージ上で合唱・合奏を披露しました。

今回の杜祭でも、ボランティアさんや地域の人たちなど、普段ではあまり関わることもない方々と接することができました。今後も、様々な方とふれあえる機会を大切に、きずなを知っ



てもらえるよう取り組んでまいりたい
と思います。
(佐々木)

竹の塚あかしあの杜のぞみ (生活介護通所) だより

6月10日に、「杜祭」みんなで輪っ
しよい。」を行いました。

前日までは、台風がくると言う話し
もあり雨が続いていましたが、杜祭の
当日は、きれいな青空が見えるほどに
晴れました。

イベントでは、前年度に引き続き通
所と入所でコラボバンドを行いました。
今回は、スマップの「オリジナル
スマイル」と、
「トトロ」「崖
の上のポニョ」
を演奏しまし
た。

活動の時間が
合わない中、
一生懸命練習を
した成果が本番
に現れ、とても
素敵な演奏でし
た。他には、ピ
エロのショーや
お相撲さんとの
腕相撲大会、太
鼓の演奏がステ
ージで行われま
した。



ピエロの方に
は、施設内を回
ってバルーンア
ートを配ってい
ただき、可愛い
風船を持った方
をたくさん見か
けました。

また、前年度
に引き続き「被
災地復興支援」
で、東北の障が
い者施設のクッキ
ーやケーキを送
っていた販売をし
ました。また、
昨年に続き、東
北のご当地グル
メで有名な「浪
江焼きそば」も
販売しました。

自主生産販売では、今年もたくさん
の施設の方のご協力があり、さまざ
まな物が販売されました。のぞみ
の利用者さんも、自主生産販売や復
興支援の物品販売に参加していただ
き祭りを一緒に盛り上げました。

ボランティアさんや参加したみんな
が輪になって、今回も最高の祭りにな
る事が出来ました。ありがとうございました。
(和田)



大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

6月27日、千駄ヶ谷にある東京体育
館で、障がい者雇用に取り組む約300社
の企業が集まり、約1500人の求職者が申
し込む就職面接会が行われました。

今回、就労移行支援事業室からは4
名の方が参加しました。参加者は、面
接会に向けた履歴書の作成や、面接で
予想される質問
への答え方、支
援員が面接官と
なつての模擬面
接を行ってきま
した。

当日、昼食を
食べていた時
は、皆さん笑顔
で会話をしてい
ましたが、会場
に着いた途端、
人の多さ、緊迫
した雰囲気、圧
倒され、徐々に
皆さんの表情が
緊張感へと変わ
っていきまし
た。

いざ本番にな
ると、模擬面接
の時とは違い、



緊張から企業の
方との質疑応答
では受け答えを
する事がやっと
。支援員はサ
ポート役として
面接に同席しま
すが、あくまで
主役はご本人で
す。面接では、
答えがわからな
くて戸惑ってし
まった場面もあ
りました。しか
し、座り方、履
歴書の渡し方等
は練習の成果が
出ており、完璧
でした。各々3
社〜4社程受け
たので、帰る頃
になると、皆さ
んは安心感と疲
労感でぐったり
していました。

就労移行支援事業室は、開所されて
4年目となります。お陰様で高い就職
率を維持してきていますが、今まで就
労移行支援事業室が受けた面接会では、
企業側の要望が高かったりとなかなか
思うようにはいかないのが現状です。
1社目で採用される方もいらつし
やれば、30社以上受ける方もいらつし
やいます。不採用が続くと、めげてしま
いそうになりますが、そのような経験を通
して課題が明確になり、スキルアップを
図りながら、次の面接に向けて再挑戦して
いきます。

一人ひとりの「就職」に対する想いは
熱く、私たちも一緒になって合格でき
るよう、これからも全力で取り組ん



で参ります。

何事にも諦めずに希望を持って貰えば、いつかは報われる。自分なりに一歩ずつ成長していきたいながら、一喜一憂し、「それぞれの将来の夢」に向かって挑戦し続けていきたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

(谷口)

神明福祉園だより

5月30日にファミリースポーツレクリエーションを開催いたしました。

2年ぶりの開催となり、利用者のみなさん・家族の方・ボランティアの方・近隣の方とたくさんの方の参加により盛り上がりしました。

競技では、玉入れで籠に入らないくらい球が入ったり、パンくい競争では取ったパンを笑顔で見せてくれたりしました。毎年、神明婦人部の方中心の盆踊り、ダンスやリレーなど普段以上に笑顔あふれる表情がたくさん見られました。

表彰式では、リレーで優勝した班へ渡邊園長より賞状が授与され今年度は終



わりました。

神明福祉園のファミリースポーツレクリエーションは、利用者の方々と家族の方と一緒に身体を動かす競技、ゲームやダンスを

楽しむ行事です。そして地域の方、ボランティアの方々の支えと協力があり実施する事ができました。また今回は、来賓として法人から丸山副理事長、苦情解決委員の藤巻さんにお越しいただき、競技にも一緒に参加して頂きました。たくさんの方の支えにより今年度も賑やかなファミリースポーツレクリエーションとなりました。ありがとうございました。

今年度の感想や反省をもとに、来年度のファミリースポーツレクリエーションがより良いものにできるように工夫をしていきたいと思っています。(金井)

神明デイサービスセンターだより

梅雨が明けほっとしたのもつかの間、暑い日が続きますが体調など崩してありませんか？

神明デイサービスでは、6月の佐野センターのお祭りで初めてフラダンスのお披露目をさせて頂き、ゆったり



したフラの音楽に合わせ、真剣に踊る利用者10名がとても素敵で好評でした。これに自信を持って、来年度も是非発表したいと、毎週水曜日には練習に励んでおります。

また恒例の菖蒲沼公園にも、1週間をかけて交代で菖蒲を見に行つて参りました。紫、白、黄、ミックス、フリル等様々な

菖蒲に綺麗との声があがり、写真を撮ったり、短歌を詠んだり、足元の悪い所では他の利用者さんを心配され思いやる姿が見受けられました。和気あいあいと、通常では味わえない花に囲まれ、とても良い時間を過ごす事ができました。

今後講習会、リハビリで夏に負けないように体力作りをして暑い夏をのりきっていききたいと思えます。皆さまも熱中症などに気を付けてください。

(岡田)



神明福祉作業所だより

早いもので今年も半年が過ぎました。夏は花火や海水浴など外に出る機会が多いですが、今年はなるべく猛暑にならないといいですね。

福祉作業所は、6月に佐野住区センター祭『ハート&ハート』に参加しました。昨年は震災の影響で開催がなかったのですが、2年ぶりの参加です。天気予報は「雨！」だったので、雨バージョンの動きも考えていたのですが、当日はカラリと晴れ上がり、とても気持ちのいい一日でした。

自主生産品販売、自転車清掃、革体験、喫茶店など利用者さんは笑顔でお客さんに対応していました。

また外出行事も始まり、5名前後の利用者さんが職員・ボランティアさんと電車やバスに乗って出かけます。食事を楽しみにされる方、



お買いものを決めている方など一人ひとりで目的を持って参加されています。この新聞が皆さんのお手元に届く頃は、ロンドンオリンピックピックが開かれていると思います。作業所では毎日盛り上がった話題が聞けることでしょう。きつと合言葉は「頑張れ！ニッポン」ですね。

暑い夏に熱い応援。水分補給をしっかり行いましょう。
(本間)

グループホームオハナだより

梅雨の期間は、体調を崩さず利用者のみんなが心地よく過ごせるにはどうしたらよいか毎年悩みます。エアコンを使う時期、朝昼の気温差が激しく着る服の調整にも考えさせられます。みんなが安心・安全・安定した暮らしを送れるように、私たち支援者も健康には充分気をつけたいと思います。

6月29日、30日に1年ぶりに旅行(ディズニールランド)に行ってきた。オハナのみんなで行くディズニールランドは初めてです。

当日の天気予報は前日まで雨とのことでした。梅雨だから仕方ないと思う



ていましたが、オハナには晴れ女がいます。期待をしつつ当日を迎えると天気予報ははずれ、なんと晴れ。これにはみんな大笑いです。

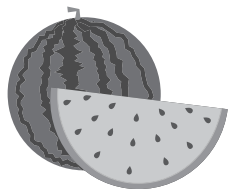


1日目はディズニールランドでアトラクションに乗ったり、美味しいご飯を食べたりして楽しんだのですが、中でもパレードはみんな喜んでみていました。2日目は6月生まれのお友達のお誕生日会をホテル内のレストランで行い、みんな表情豊かに過ごしました。

最近の外に出る機会が少なくなっていました。久しぶりの外出は充実したものになりました。これからいろいろなところに出かけ、実り多い日々を送りたいと思います。

猛暑ですが、健康には充分配慮して、毎日笑いあふれる生活を送れるようみんな楽しく生活をしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。

(永山)



あいのわ支援センターだより

6月も終わり、いよいよ本格的な夏がやってきますね。高温多湿ということもあり、気温の変化に体調を崩しやすい季節ですが、健康管理には十分気を配って参りたいと思います。

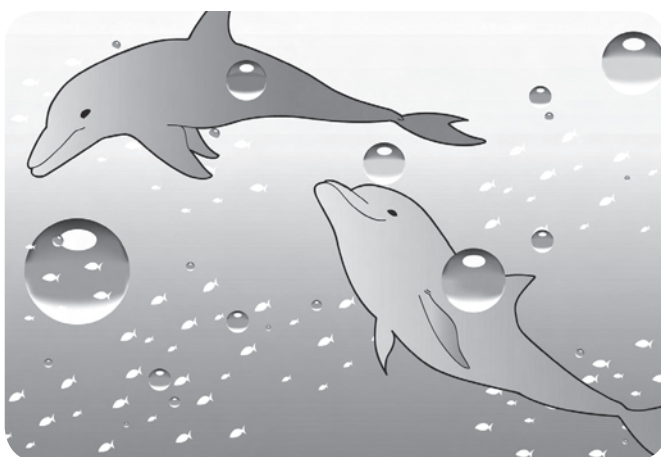
さて、あいのわ支援センターでは、4月に神明福祉園分室が開所してから3か月経ちました。ありがたいことに、毎日皆様楽しく通所していただいております。

先日のレクリエーションでは、ペットボトルを再利用して作ったピンでボーリング大会を行いました。ピンにそれぞれ異なる点数をつけ、様々な大きさのボールを用意し、サイコロのくじ引きで持ち球を決めて、投げ合い：応援合戦！最後は大逆転！通所に出発する前のケアホームのご利用者様も途中参加して下さい、大いに盛り上がりしました。優勝者には素敵な金メダルが贈られ、とても楽しい会にな



りました。また、創作活動では、色とりどりの七夕飾りを作り、皆様に大きな笹に飾り付けをしました。

本園からもたくさんさんの短冊を持って飾りに来て下さり、そのほかショートステイのお客様から出入りの業者さんまで、様々な方に願い事を書いていただき、とても立派な笹になりました。どうか皆様の願い事が天まで届いて叶いますように！
(内田)



投稿欄

（俳句・川柳など募集中です）

あやめ咲く 潮来出島の 細き雨

秋山啓司

この一句

釣系の ふくらむ風に 涼みけり

高橋 寛

折りからの水面を渡る涼風に、釣糸がふくらむ。しばし都会の喧騒を忘れ、独り木陰で釣を楽しむ。水郷などでよく見かける、心がなごむ風景である。（秋山）

後援会だより

（平成24年5月～6月）敬称略、順不同

◆特別会員（1口1万円）

山野正雄、秋山啓司、石鍋一郎、神代和幸、庄司光男
谷在家福祉園家族会5口、武内啓友、小金井寛、肥後留太郎、大井勉
堀江日出子、佐藤トヨ子、川名安之介、神明福祉園父母の会20口
神明福祉作業所保護者会10口、稲場和子、本橋久美

◆団体会員（1口5千円）

加平町会2口、日商岩井綾瀬マンション2口
青井五丁目住宅供給公社、(株)双立電機大谷勝2口、(株)マルゼン2口
(株)サンベルクス2口、足立西加平郵便局、六ツ木診療所山下俊樹2口
トーブラ販売(株)2口、(有)Aーフラッグ2口

青井三丁目町会会長小滝英治2口、建設工機(株)佐々木継男2口

青井四丁目第四自治会、足立成和信用金庫青井支店支店長大窪豊2口

◆一般会員（1口3千円～5千円）

秋山智子、吉澤国夫、羽子田よるみ、小原光男、須賀賢一、橋本めぐみ
岡田三郎、谷古宇彰、今井澄子2口、穂積一良、西野幸男、小林則子
ヘルプアンドケア代表小笠原昌俊、佐々木きよ子
(株)サンベルクス小川英二、丸洋子、有馬妙子、橋本隆、秋山孝広
平沢清寿、斉藤智恵子、菱木昭栄、渡辺杏子、金成常子
田中誠、富山博治

◆寄付者

秋山啓司、きずな家族会、本橋久美、渡邊和彦

◆物品寄付

田林恵子（手作り品）

編集後記

足立区肢体不自由児者父母の会の「要望」書を拝見させていただきました。医療ケアに関わる項目が目を引きました。障がいがある方が吸引・胃ろう等の医療ケアが必要となった時にショートステイの利用、通いながた施設への通所が出来るか、住み慣れた地域での暮らしが続けられるかという、昔も今も変わらない現実がそこにあります。

今、元第一びわこ学園の園長（現びわこ学園医療福祉センター医師）の高谷清氏の「重い障害を生きるということ」という本が手元にあります。著者の重症心身障がい児・者との関わりの歴史から、「重症心身障がい」の状態をどう理解し、本人・ご家族ともども、地域で共に生きるということについて実践的に綴られています。

「重症心身」の状態の理解、医療ケア等の現実の課題とも重ねて心に響きました。共に創り、共に生きる法人づくりというテーマがいつも試されていると思いました。暑い日が続いています。くれぐれもお体をご自愛し、お過ごしください。（今野）

竹の塚あかしあの杜「なごみ」

（平成24年5月～6月）

短期入所事業利用状況

利用人数	85名	内児童	10名
延べ利用日数	402泊	内児童	54泊

●後援会加入のおながい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願い、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々に「賛同いただき、後援会への加入」ご支援をお願い致します。お申し込みお問合せは後援会事務局 電話（3849）1188まで